

# 地域密着型金融推進計画 (平成19年度～平成20年度)

平成20年2月

## 基本方針

「地域密着型金融推進計画」につきましては、平成15年4月から平成17年3月まで「リレーションシップ・バンキングの機能強化に関するアクションプログラム」、平成17年4月から平成19年3月まで「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」と二次にわたるアクションプログラムに基づき、事業再生・中小企業金融の円滑化、経営力の強化、地域利用者の利便性向上等を柱に取組んできました。アクションプログラムは終了しましたが、これまでの実績を踏まえたうえで、引き続き、以下の3点を重点項目として、「地域密着型金融推進計画」(平成19年度～平成20年度)を策定し、地元の皆様に必要とされる金融機関を目指して、より一層の機能強化を推進してまいります。

## 重点項目毎の取組方針

### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

4年にわたるアクションプログラムを通じて、経営改善支援を中心に取引先企業に関与し、経営者の意識改革や財務リストラに取組んできた結果、ランクアップ企業もあり、一定の成果があったと認識しております。しかしながら、経営改善支援先としての抽出先数や取組みへの深度等不十分な点もあり、この点を解消しながら、引き続き、経営改善支援を中心に積極的に取組むとともに、多様化する取引先のニーズに的確、迅速に対応する体制整備を図ってまいります

### 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

当金庫の営業エリアにおける資金需要は、一時ほどの勢いはなく、また競合金融機関との競争は厳しさを増すばかりであります。そのような状況下、目利き能力を活かした定性情報の収集により取引先企業の事業価値を見極めるという融資姿勢は今まで以上に地域から求められていると考えます。

目利き能力向上のための研修の受講や不動産担保に過度に依存しない無担保融資商品の組み合わせにより、地元の中小企業に見合った資金供給手法に積極的に取組んでまいります。

### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域活性化のための事業性貸出等円滑な資金供給はもちろんでありますが、そこに住んでいるお客様のライフサイクルに応じた金融サービスの提供を充実させることで地域経済への貢献を図ってまいります。また、ここ数年、大きな社会問題にもなっている多重債務者問題についても、金融面だけではなく相談窓口の設置等、予防に向けた取組みも積極的に行ってまいります。

このほか、日々の営業活動やお客さま満足度調査を利用し、地域の利用者の声をできるだけ金融サービスに反映できるよう、積極的に取組んでまいります。

## ・具体的な取組み策

地域密着型金融の推進にあたり、重点項目毎に定めた取組方針に基づき、特に以下について積極的に取組んでまいります。

### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

- (1) 創業、新事業先への支援
- (2) 本部と営業店が連携した事業再生、経営改善支援先に対するランクアップに向けた取組み
- (3) 中小企業再生支援協議会やR C Cの活用

### 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- (1) 担保保証に過度に依存しない融資の推進
- (2) スコアリングモデル等の活用した融資商品の開発
- (3) 目利き能力向上に向けた職員の育成

### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- (1) 多重債務者問題への取組み
- (2) 大口資金需要に対するシンジケートローンへの参加
- (3) 商工会議所との提携及び活用

## ・決算期における開示

地域密着型金融への取組みについては、年一回、具体的取組み策の実施状況のほか、以下の項目についてその成果を開示してまいります。

- (1) 経営改善支援取組み率
- (2) 再生計画策定率
- (3) ランクアップ率
- (4) 創業・新事業支援融資実績
- (5) 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績（件数・金額）

以上